

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいませうようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
----------------	----------------------------------

■ソーラーパワーウォッチ充電時間の目安

時計のモデルや充電方法（光を受ける角度など）によって充電時間が異なります。あくまでも目安としてご利用ください。

* 充電時間は連続照射時間です。

照度 (ルクス)	環境	充電時間 (約)	
		1日分の充電時間	フル充電時間
500	屋内(一般オフィス)照明	2.5時間	—
1,000	蛍光灯(30W)の下60～70cm	1.5時間	—
3,000	蛍光灯(30W)の下20cm	35分	—
10,000	曇天	10分	35時間
100,000	夏の日の直射日光下	5分	16時間

フル充電時間…時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間
1日分の充電時間…時計を1日動かすのに必要な充電時間

■お取り扱いにあたって

⚠ 警告 防水性能について

・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
・日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキンダイビング)などには使用できません。
・日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを扱う飽和潜水には使用できません。

防水性について
・りゅうずを引いた状態では、防水性能に関係なく浸水してしまうのでご注意ください。
・時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。(1barは約1気圧に相当します)

名称	表示	仕様	使用例				
	文字板または裏ぶた		水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など)	水仕事や、一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずの操作。
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10気圧防水 20気圧防水	○	○	○	×	×

* WATER RESIST (ANT) △△ barは W.R. △△ bar と表示している場合があります。

⚠ 注意

・りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
・水分のついたままりゅうずの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド(金属製またはゴム製)にお取り替えの上、ご使用ください。
・日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
・万一、時計内部に水が入ったり、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときはそのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
・時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、ボタンなど)が外れる危険があります。

■商品の特徴

この時計は、文字板外周(ケース内側側面)にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるアナログソーラーパワーウォッチです。

■ご使用になる前に

■**充電時間の目安**の項を参照して、十分に光を当てて充電してからご使用ください。

この時計には、電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。この二次電池は、水銀などの有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。

＜ソーラーパワーウォッチの上手な使い方＞
快適にこの時計をご使用いただくためには、常に余裕を持って充電することを心がけてください。この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません。毎日の充電を心がけてご使用されることをおすすめします。

【過充電防止機能】
ソーラーセルに光が当たり、二次電池がフル充電になると、それ以上は充電されないように自動的に過充電防止機能が働きます。
どんなに充電しても二次電池や、時間精度、機能、性能などに影響をおよぼすことはありません。

■ソーラーパワーウォッチ取り扱い上の注意

＜時計は常に充電を心がけてお使いください＞

・日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
・時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。特に冬場は充電に心がけてください。

⚠ 注意 充電上の注意

・充電の際に時計が高温になると、外装部品の変色、変型およびムーブメント部品の故障等の原因となります。
高温下（約60℃以上）での充電は避けてください。
例 ・白熱灯、ハロゲンランプなど高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。
・車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。
・白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい光源で充電するときは、必ず50cm以上離して、時計が高温にならないように注意して充電してください。

⚠ 注意 バンドのお取り扱いについて(着脱時の注意)

・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

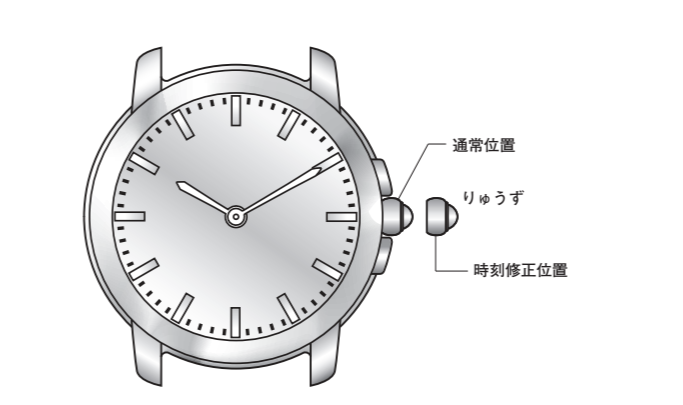
⚠ 注意 時計は常に清潔に

・ケースとりゅうずの間にゴミや汚れが付着したまま放置しておく、りゅうずが引き出しにくくなる場合があります。ときどき、りゅうずを通常位置のままでも空回りさせてください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。かぶれの原因は
1. 金属、皮革アレルギー
2. 時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
(時計のお手入れ方法)
・ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
・皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。
・金属バンド/プラスチックバンド/ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
・溶剤類(シンナー、ベンジンなど)の使用は、変質の恐れがありますので避けください。

文字板や針が光っている場合

時計の文字板や針には、放射線物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。この塗料は、太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。
・蓄えた光を放出していくと、少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
・光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、照射時間、蓄光塗料の量などによって発光する時間に誤差が生じます。
・光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合があります。ご注意ください。

■時刻の合わせ方



＜時刻の合わせ方＞

- りゅうずを時刻修正位置まで引き出します。
- りゅうずをまわして時刻を合わせてください。
- 時報などに合わせてりゅうずをきちんと通常位置に押し込みます。

*お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

⚠ 警告 二次電池の取り扱いについて

・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かないところに保管してください。
・万一、二次電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談して治療を受けてください。

⚠ 警告 指定の電池以外は使用しないでください

・この時計に使われている二次電池以外は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池などの他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり、電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池を交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

温度について

・－10℃～＋60℃の温度範囲外では機能が低下したり、停止することがあります。製品仕様範囲外でのご使用はお避けください。

磁気について

・アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

静電気について

・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

ショックについて

・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

化学薬品・ガス・水銀について

・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

保管について

・長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。
・時計を長時間ご使用にならない場合、できるだけ光が当たる場所で保管することをおすすめします。

■二次電池の交換について

二次電池の交換は不要ですが、まれに充電不良が発生する場合がございます。万一、不具合が生じたときは、速やかに修理依頼をしてください。

■製品仕様

・キャリバーNo. ……………	J625
・型式 ……………	アナログクォーツウォッチ
・時間精度 ……………	平均月差±15秒 常温（＋5℃～＋35℃）携帯時
・作動温度範囲 ……………	－10℃～＋60℃
・表示機能 ……………	時刻：時、分
・付加機能 ……………	過充電防止機能
・持続時間 ……………	フル充電～止まり：約7カ月（キャリバーNo. J620） フル充電～止まり：約5カ月（キャリバーNo. J621）
・使用電池 ……………	二次電池 1個

* 製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

■保証とアフターサービスについて

- 保証について**
正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。
- 修理用品の保有期間について**
当社は、時計の機能を維持するための修理用品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。
- 修理可能期間について**
当社の修理用品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上、販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。
- ご購入・ご贈答品の場合**
保証期間中にご購入されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
- 定期点検（有償）について**
安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度点検（有償）を行ってください。防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。部品交換の際は、純正品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
- その他お問い合わせについて**
保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。